

健康づくりは幸せづくり
Making Health is making happiness



第55期

株主通信

平成20年4月1日～平成21年3月31日



ゼリア新薬
ZERIA



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、
ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
第55期の事業概況に関しまして、
ここにご報告させていただきます。

代表取締役社長

伊部 幸 顕

Z・E・R・I・A Five コーポレート・スピリッツ／企業理念



Z・E・R・I・A Five コーポレート・スピリッツ／企業理念

Contents

株主の皆様へ.....	P.1
営業の概況（連結）.....	P.2
研究開発.....	P.5
Key Word.....	P.6
財務諸表（連結）.....	P.7
財務諸表（単体）.....	P.9
連結財務ハイライト.....	P.10
株主様ご優待のお知らせ.....	P.11
会社情報.....	P.13
株式情報.....	P.14
株主メモ	

営業の概況（連結）

当期の業績

当連結会計年度の売上高は、476億70百万円（前期比4.1%減）となりました。利益につきましては、営業利益13億24百万円（前期比48.3%減）、経常利益13億66百万円（前期比44.2%減）、当期純利益12億3百万円（前期比26.6%減）となりました。

事業部門別状況

●医療用医薬品部門

当部門におきましては、プロモーションコードの遵守をもとに、MR（医薬情報担当者）の資質の向上と学術情報活動の一層の充実を図ってまいりました。

最重点領域である消化器官用薬におきましては、営業力をこの領域に一層注力し、市場拡大に努めてまいりました。その結果、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック®」は、市場浸透がさらに進み売上は伸びました。しかし、H₂受容体拮抗剤「アシノン®」、胃炎・潰瘍治療剤「マーズレン®」などの製品は、市場競争の激化や薬価改定の影響を受けて売上は減少いたしました。

これらの結果、当部門の売上高は、287億63百万円（前期比7.7%減）となりました。

●コンシューマーヘルスケア部門

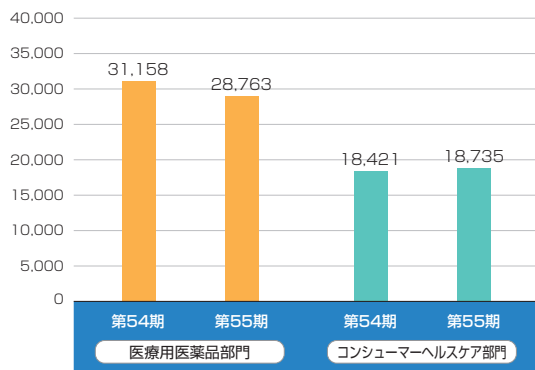
当部門におきましては、超高齢社会が進展する中、生活者のセルフメディケーションをサポートする製品の供給を通じて市場構築を進めてまいりました。

なかでも主力製品群である「コンドロイチン群」は、従来の販売促進活動に加え、テレビCMを実施したことにより製品認知度が向上し、順調に売上を拡大いたしました。また、滋養強壮剤「ヘパリーゼ®群」も、多数の新製品を投入しラインナップを強化したことにより、堅調に推移いたしました。しかしながら、市場競争の激化により、植物性便秘薬「ウィズワン®群」やスキンケア関連製品群「アポスティー®シリーズ」などの製品群は苦戦を余儀なくされました。

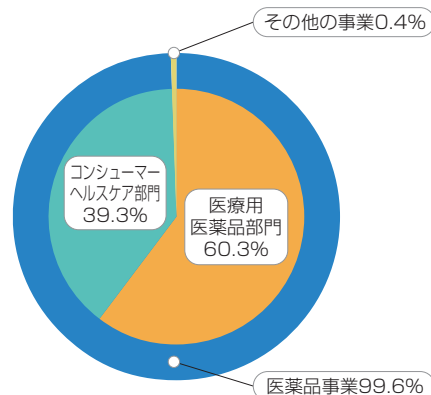
なお、昨年10月に子会社いたしましたイオナ インターナショナル株式会社の売上を当部門に計上しております。

これらの結果、当部門の売上高は187億35百万円（前期比1.7%増）となりました。

連結売上高（単位：百万円）



事業別売上高構成



営業の概況（連結）

研究開発の状況

研究開発部門におきましては、国際的に通用する新薬の創製を念頭に、自社オリジナル品の海外での臨床試験を積極的に推進するとともに、海外で実績のある薬剤を導入し、国内での開発を進めております。

最重要領域である消化器分野の新薬パイプライン強化に取り組む中で、スイス・ティロツツ社より導入した炎症性腸疾患治療剤「Z-206（アサコール®）」は、潰瘍性大腸炎を対象としたフェーズⅢを終了し、平成20年4月に製造販売承認申請を行いました。また、同剤のクローン病適応につきましましては、協和発酵キリン株式会社と平成19年1月に締結した共同開発および共同販売契約に基づき、臨床試験の準備を共同して進めております。

日米欧3極で開発を進めている自社オリジナル品の「Z-338」につきましては、アステラス製薬株式会社と平成20年3月に締結した国内における共同開発および共同販売契約に基づき、機能性ディスペプシアを適応症としたフェーズⅢを開始いたしました。また、欧州で実施してござ



主要医療用医薬品等

種別	製品名
消化器官用薬	アシノン錠（75mg、150mg）
	プロマック顆粒15%・D錠75
	マーズレン・S顆粒・ES錠
	ビジクリア錠
	新レシカルボン坐剤
中枢神経系用薬	ペオン錠80
循環器官用薬	ランデル錠（10、20、40）、ポリドカスクレオール（0.5%、1%、3%注2mL）
血液及び体液用薬	アンサー皮下注20μg
医療機器	アピテン、シリンジアピテン

たフェーズⅡで有効性および安全性が確認できたことから、フェーズⅢ開始に向けた準備を進めております。米国では、実施許諾契約に基づきアステラス製薬株式会社がフェーズⅡを実施しております。

「Z-103（プロマック®）」につきましては、味覚障害を対象とした効能追加のフェーズⅢを実施しております。

「Z-360」は、欧州において膵臓癌に対するフェーズⅠb／Ⅱaを終了し、フェーズⅡ開始に向けた準備を進めております。また、「Z-100（アンサー®）」は子宮頸癌に対する追加フェーズⅢを引き続き進めております。

独立行政法人科学技術振興機構の開発委託を受けたアレルギー性鼻炎治療剤「Z-207」は、平成20年9月にフェーズⅠを開始いたしました。



主要一般用医薬品等

種別	製品名
代謝性用薬	コンドロイチンZS錠
	新ヘパリーゼプラス、新ヘパリーゼドリンク
	ハイゼリー-B、新ローヤルゼレントB
滋養強壯剤	ハイゼリー顆粒、ハイゼリー散
胃腸薬	アシノン、ウイズワン、ウイズワンα、ウイズワンプラス、ウイズワンエル
中枢神経系用薬	セビーIPかぜゴールド（顆粒、錠）
医薬部外品	エナジカン、ビタヘルサン
外皮用剤	アポステイー（ローション・マイルドローション・モイスチャーローション・洗顔フォーム・クリーム）
	ドルマイシン軟膏、ドルマイコーチ軟膏
特定保健用食品	ウィズオブレ、ライフナビ食物繊維入りほうじ茶
栄養補助・健康食品	ヘパカン、新健康習慣シリーズ

また、平成19年8月にテムリック株式会社と共同開発および独占的販売契約を締結の上、導入した肝細胞癌用剤「Z-208」につきましては、平成20年6月にフェーズⅠ/Ⅱを開始いたしました。

さらに、韓国SK Chemicalsは、平成18年2月に当社との間で締結した「プロマック®顆粒15%」の同国内における開発および販売に関する契約に基づき同剤の開発を進めておりましたが、平成21年4月に胃潰瘍・胃炎治療剤として承認を取得いたしました。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、日本で初めてのアルミ缶入り医薬部外品である滋養強壮ドリンク剤「エナジカン®」をはじめ、新製品、PB品を順次発売いたしました。

当連結会計年度の研究開発費は、51億28百万円（前期比4.8%減）となりました。

生産物流の状況

生産物流部門におきましては、品質の確保を第一として業務を進めてまいりました。なかでも、生産関連部門では、より高い品質の確保を目指すとともに原価の低減をメインテーマとして業務を進めてまいりました。一方、物流関連部門では、物流業務のアウトソーシングを実施する中、さらなる業務の効率化とコストの低減に努めてまいりました。

なお、当社の製商品の出荷は、現在札幌・東京・大阪の3カ所の物流センターで実施しておりますが、平成21年7月稼働の予定で新たに九州物流センター（佐賀県鳥栖市）を開設し、出荷を始める準備を進めております。これにより、物流サービスのさらなる向上を目指してまいります。

次期の見通し

平成22年3月期（平成21年度）の連結業績予測につきましては、売上高530億円（前期比11.2%増）、営業利益25億円（前期比88.7%増）、経常利益25億円（前期比83.0%増）、当期純利益15億円（前期比24.7%増）となる見込みです。

売上高

医療用医薬品部門におきましては、亜鉛含有胃潰瘍治療剤

「プロマック®」やH₂受容体拮抗剤「アシノン®」の市場拡大に加え、一昨年より販売を開始した大腸内視鏡前腸管洗浄剤「ビジクリア®錠」の市場浸透を見込んでおります。また、平成21年度には炎症性腸疾患治療剤「Z-206（アサコール®）」の上市を予定しており、最重点領域である消化器官用薬を中心としたさらなる市場構築に努めてまいります。一方、コンシューマーヘルスケア部門におきましては、本年度も引き続き主力製品である「コンドロイチン群」のテレビCMを実施するとともに、コンドロイチンに続く新たな製品のテレビCMを予定しており、市場拡大とともにゼリアブランドの認知度向上に努めてまいります。さらに、イオナ インターナショナル株式会社の売上拡大が見込まれており、これらの結果、売上高におきましては当期に比べて増収を予測しております。

利益

利益面におきましては、原価の改善並びに収益性の高い製品の売上高の増加が見込まれますので、営業利益、経常利益、当期純利益ともに当期に比べて増益を予測しております。

クローズアップ

日本初のアルミ缶入り 医薬部外品ドリンク剤新発売



平成21年2月、日本で初めてアルミ缶入り医薬部外品ドリンク剤「エナジカン®」を当社筑波工場で製造し販売を開始しました。当社アルミ缶入りドリンク剤は、平成20年10月 肝臓エキス・ウコン配合健康ドリンク「ヘパカン®」（清涼飲料水）をはじめ、平成21年6月には、特定保健用食品「ウィズオブレ™」を発売しました。今後も環境にやさしく利便性の高いアルミ缶入り医薬品・医薬部外品・健康食品のドリンク剤の開発上市を検討してまいります。

研究開発

当社における新薬のパイプラインは国内外を合わせて11テーマです。

研究開発の状況

I. 国内開発状況

1) 消化器系分野

(平成21年5月19日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
申請中	Z-206/ メサラジン	自社	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出制御製剤	導入 予定製品名 アサコール®
フェーズⅢ	Z-206/ メサラジン	共同開発 (協和発酵キリン)	クローン病	pH依存型放出制御製剤	導入 予定製品名 アサコール®
	Z-103/ ポラブレジンク	自社	味覚障害	亜鉛補充	導入 プロマック®効能追加
	Z-338/ アコチアミド	共同開発 (アステラス製薬)	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社オリジナル
フェーズⅠ/Ⅱ	Z-208/ タミパロテン	共同開発 (テムリック)	肝細胞癌	レチノイン酸RAR α 受容体作動作用	導入

2) その他の分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ 追加試験	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社オリジナル アンサー®効能追加
フェーズⅠ	Z-207	自社	アレルギー性鼻炎	粘膜組織凝固・収縮作用 エタノール・ステロイド配合剤	導入

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
承認 (韓国)	Z-103/ ポラブレジンク	導出 (SK Chemicals)	胃炎・胃潰瘍	胃粘膜保護作用	導入
フェーズⅡ (欧州)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社オリジナル
フェーズⅡ (北米)	Z-338/ アコチアミド	共同開発 (アステラス製薬)	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	導出 自社オリジナル
フェーズⅡ準備中 (欧州)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK $_{2e}$ 受容体拮抗作用	自社オリジナル

ご参考

フェーズⅠ (第Ⅰ相臨床試験)

動物実験を終えて効き目(有効性)と毒性が確認された「薬の候補」は、少人数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。

フェーズⅡ (第Ⅱ相臨床試験)

第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少数の患者さんで「薬の候補」の効き目(有効性)、副作用(安全性)、投与量、投与方法などの適切な使用方法を*プラセボと比較しながら調べます。

フェーズⅢ (第Ⅲ相臨床試験)

多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目(有効性)、副作用(安全性)、および使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、*プラセボと比較する試験を行います。多くの場合二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

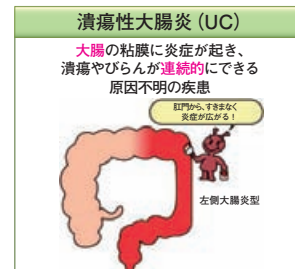
* プラセボ 有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

Key Word

アサコール®／潰瘍性大腸炎

スイス・ティロツ社より導入した「アサコール®（開発番号Z-206）」は潰瘍性大腸炎治療剤として製造販売承認を申請中です。アサコール®は、現在アメリカを始め世界60数カ国で発売されており潰瘍性大腸炎治療剤のトップブランドです。アサコール®は、下部消化管（回腸～大腸）で薬効成分が放出されるように設計されており、従来の製品に比べ病変部位への薬効成分の到達性にすぐれています。この特徴により、高い治療効果が期待され日本での上市が待たれています。

潰瘍性大腸炎とは大腸の粘膜に炎症が起き、潰瘍やびらんが肛門から口側に向かって連続的にできる疾患です。激しい腹痛や下痢などの症状が現れる「活動期」と、症状がほとんど消失している「寛解期」を繰り返すことが多いのが特徴です。遺伝的要素、免疫の異常、食事などの環境因子など、いくつかの因子が指摘されていますが、まだ原因は解明されていません。国内の患者数は毎年増加傾向にあります。



「コンドロイチンZS錠®」テレビCM第2弾

当社は、平成21年6月7日（日）より、ご好評に応え、タレントで気象予報士でもある石原良純さんを起用した、関節痛・腰痛治療剤「コンドロイチンZS錠®」（OTC医薬品）のテレビCM第2弾の放映を全国で開始いたしました。昨年6月に石原良純さんを起用して開始した「コンドロイチンZS錠®」のテレビCMは、シニア層を中心に好評を得て「コンドロイチンZS錠®」の認知をさらに高めることができ、売り上げは大幅に伸長しました。

第2弾テレビCMは、今話題の観光スポットである東京高尾山で石原良純さんが、お元気レポートをしながらテンポ良くコンドロイチンの効果を説明します。「コンドロイチン1560mg配合（1日量）」「ゼリア新薬の医薬品」を訴求ポイントに「ひざ・こし・らくちん コンドロイチンZS」というサウンドロゴを組み合わせ、前作品以上に好感度の高い微笑ましい作品になっています。

なお、テレビCMは、「コンドロイチンZS錠®製品情報サイト」（<http://www.zs1560.jp>）でご覧いただけます。



亜鉛と味覚障害

亜鉛は、ヒトが生きていくために必須の元素の1つです。亜鉛の役割は多彩で、生体の維持に欠かせない多くの酵素の成分として、インスリンの生成や機能また精子形成など生殖能に重要な役割をはたしています。さらに亜鉛は、味覚・嗅覚など感覚機能にとっても重要で舌の味蕾を形成する成分の1つで唾液にも含まれています。食品の中では、色々な食品から摂取できますが、特に生かきは亜鉛の含有量が多いことで有名です。

最近味覚障害が注目されていますが、これは亜鉛不足により唾液中の亜鉛含量の低下と味蕾の形態的变化が原因となっていることが多いと考えられています。そのほか亜鉛欠乏症として、味覚異常に伴う食欲不振などがよくみられます。

胃潰瘍治療剤プロマック®は、亜鉛を含有していることから味覚障害の効能追加について現在フェーズⅢを進めており、日本で初めての味覚障害治療剤としても期待されています。

財務諸表（連結）

連結貸借対照表（要旨）

科目	期別	
	前連結会計年度 平成20年3月31日現在	当連結会計年度 平成21年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	23,008	24,828
現金及び預金	2,477	2,812
受取手形及び売掛金	12,040	12,359
有価証券	6	-
たな卸資産	5,211	5,749
繰延税金資産	764	617
その他	2,550	3,325
貸倒引当金	△41	△36
固定資産	33,415	33,281
有形固定資産	19,616	19,891
建物及び構築物	6,384	6,433
機械装置及び運搬具	3,090	3,034
土地	9,847	10,082
建設仮勘定	28	18
その他	266	323
無形固定資産	1,660	1,664
投資その他の資産	12,138	11,725
投資有価証券	6,427	5,660
長期前払費用	2,964	-
繰延税金資産	1,001	1,049
その他	1,841	5,115
貸倒引当金	△95	△100
資産合計	56,424	58,110

（単位：百万円、端数切捨て）

科目	期別	
	前連結会計年度 平成20年3月31日現在	当連結会計年度 平成21年3月31日現在
【負債の部】		
流動負債	17,978	21,836
支払手形及び買掛金	5,142	4,966
短期借入金	7,307	12,880
その他	5,528	3,989
固定負債	9,483	8,561
社債	2,800	2,600
長期借入金	5,649	5,349
退職給付引当金	715	168
その他	319	443
負債合計	27,462	30,398
【純資産の部】		
株主資本	28,664	28,907
資本金	6,593	6,593
資本剰余金	5,414	5,414
利益剰余金	23,641	24,177
自己株式	△6,984	△7,278
評価・換算差額等	297	△1,195
その他有価証券評価差額金	297	△1,195
純資産合計	28,962	27,711
負債・純資産合計	56,424	58,110

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
売上高		49,721	47,670
売上原価		22,535	22,257
売上総利益		27,186	25,413
返品調整引当金戻入額		216	185
返品調整引当金繰入額		181	186
差引売上総利益		27,221	25,412
販売費及び一般管理費		24,660	24,087
営業利益		2,560	1,324
営業外収益		333	413
営業外費用		446	371
経常利益		2,446	1,366
特別利益		343	668
特別損失		13	31
税金等調整前当期純利益		2,776	2,003
法人税、住民税及び事業税		1,016	501
法人税等調整額		121	299
当期純利益		1,639	1,203

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		3,759	423
投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,096	△3,363
財務活動によるキャッシュ・フロー		△1,335	3,258
現金及び現金同等物に係る換算差額		0	—
現金及び現金同等物の増加額		326	318
現金及び現金同等物の期首残高		2,025	2,352
現金及び現金同等物の期末残高		2,352	2,670

連結株主資本等変動計算書（要旨）

（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）

（単位：百万円、端数切捨て）

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成20年3月31日残高	6,593	5,414	23,641	△6,984	28,664	297	297	28,962
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△666		△666			△666
当期純利益			1,203		1,203			1,203
自己株式の取得				△293	△293			△293
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額（純額）						△1,493	△1,493	△1,493
連結会計年度中の変動額合計	—	—	536	△293	243	△1,493	△1,493	△1,250
平成21年3月31日残高	6,593	5,414	24,177	△7,278	28,907	△1,195	△1,195	27,711

財務諸表（単体）

貸借対照表（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科目	期別	
	前期 平成20年3月31日現在	当期 平成21年3月31日現在
[資産の部]		
流動資産	22,365	23,140
固定資産	31,839	32,440
有形固定資産	17,757	17,464
無形固定資産	1,659	1,656
投資その他の資産	12,422	13,318
資産合計	54,205	55,581
[負債の部]		
流動負債	17,185	20,880
固定負債	8,545	7,518
負債合計	25,730	28,399
[純資産の部]		
株主資本	28,177	28,377
評価・換算差額等	297	△1,195
純資産合計	28,474	27,182
負債・純資産合計	54,205	55,581

損益計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科目	期別	
	前期 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	当期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
売上高	48,931	46,670
売上原価	22,239	21,846
売上総利益	26,691	24,823
返品調整引当金戻入額	216	181
返品調整引当金繰入額	181	182
差引売上総利益	26,726	24,823
販売費及び一般管理費	24,554	23,787
営業利益	2,172	1,035
営業外収益	437	530
営業外費用	416	317
経常利益	2,194	1,249
特別利益	343	668
特別損失	12	29
税引前当期純利益	2,524	1,888
法人税、住民税及び事業税	862	436
法人税等調整額	128	292
当期純利益	1,534	1,160

株主資本等変動計算書（要旨）

（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）

（単位：百万円、端数切捨て）

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成20年3月31日残高	6,593	5,414	23,153	△6,984	28,177	297	297	28,474
事業年度中の変動額								
別途積立金の積立								
剰余金の配当			△666		△666			△666
当期純利益			1,160		1,160			1,160
自己株式の取得				△293	△293			△293
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）						△1,492	△1,492	△1,492
事業年度中の変動額合計	-	-	493	△293	200	△1,492	△1,492	△1,292
平成21年3月31日残高	6,593	5,414	23,647	△7,278	28,377	△1,195	△1,195	27,182

連結財務ハイライト

項目	第51期 H17/3	第52期 H18/3	第53期 H19/3	第54期 H20/3	第55期 H21/3
売上高 (百万円)	56,209	55,545	52,757	49,721	47,670
経常利益 (百万円)	1,999	1,879	3,341	2,446	1,366
当期純利益 (百万円)	1,385	1,248	2,068	1,639	1,203
総資産 (百万円)	55,162	56,539	58,519	56,424	58,110
純資産 (百万円)	27,715	29,353	29,597	28,962	27,711
自己資本当期純利益率 (ROE) (%)	4.9	4.4	7.0	5.6	4.2
売上高経常利益率 (%)	3.6	3.4	6.3	4.9	2.9
売上高当期純利益率 (%)	2.5	2.2	3.9	3.3	2.5
総資産経常利益率 (%)	3.9	3.4	5.8	4.3	2.4
自己資本比率 (%)	50.2	51.9	50.6	51.3	47.7
1株当たり当期純利益 (円)	31.77	29.23	48.96	39.15	28.91
1株当たり純資産 (円)	652.45	691.22	703.57	695.05	669.72

連結会社 3社

ゼリアヘルスウェイ株式会社

資本金 85百万円 (持株比率100%)

事業内容 健康食品の仕入・販売

イオナ インターナショナル株式会社

資本金 2億円 (持株比率100%)

事業内容 化粧品・医薬部外品の製造・販売他

株式会社ゼービス

資本金 1億80百万円 (持株比率100%)

事業内容 保険代理業・不動産業等

株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待制度を行なっております。このたび、従来の優待品A～Dコースに加え下記の通り、Eコースを追加しました。今回追加したEコースは、昨年10月に当社グループ会社の一員となったイオナ インターナショナル株式会社の基礎化粧品3点セットです。A～E 5つのコースからご希望のいずれかをお届けいたします。ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

(新規追加コース)

Eコース 『IONAベーシックスキンケア3点セット』 (1箱)

うるおい成分植物エキスなどを配合した自然の恵みのソープ「イオナ ソープ プリリアント」、岩石抽出物・W糖類・ヒアルロン酸Na（保湿成分）を配合した、肌本来の保水力を整えるしっとりタイプの化粧水「イオナ スキンローションB.I. (R)」^(R)、バリア機能の源（角質層）を保護する水溶性クリーム、保湿&エモリエント成分配合の「イオナ イオンクリーム プリリアント」の3点です。ぜひ上質なうるおいを実感してください。

イオナ ソープ プリリアント（洗顔石鹸）【化粧品】 1個
イオナ スキンローションB.I. (R) (化粧水)【化粧品】 1本
イオナ イオンクリーム プリリアント（クリーム）【医薬部外品】 1本



<イオナ インターナショナル株式会社について>

平成20年10月、当社グループに「IONA」ブランドで広く知られているイオナ インターナショナル株式会社（以下イオナ）が加わりました。これにより、当社グループは化粧品分野へ本格的に参入いたしました。

イオナは、創業以来30余年にわたり、基礎化粧品「IONA」シリーズの製品および販売に携っております。「IONA」ブランドは高い認知度を有する優れた基礎化粧品シリーズとして、全国のドラッグストア、薬局・美容サロンなどを通じて販売されており、独自の地位を築いています。

イオナの生産拠点は、福島県白河にあります。化粧品の製造を中心とした工場、当社の埼玉工場（医薬品基幹工場）・筑波工場（ドリンク剤工場）と機能的に棲み分けができます。当社グループとして化粧品を製造できる生産拠点を得たことは、事業展開上とても意義のあることです。

すでに、開発・生産関連部門におけるシナジー創造プロジェクトがスタートしました。



イオナ インターナショナル株式会社 福島工場

Aコース

からだの脂肪を考える、新コンセプト食品 『新健康習慣[®]』(1週間セット2箱)

『新健康習慣[®]』は、各種栄養成分をバランスよく配合した1食約220Kcalという低エネルギーの食生活サポート食品です。「体脂肪率が高い」「健康的なウエイトコントロールをしたい」といった方におすすめです。



Bコース

健康飲料『コンドロビー[®]濃縮液 潤甦[®](じゅんこう)』 (720mL入り2本セット)

『コンドロビー[®]濃縮液 潤甦[®](じゅんこう)』は1日の摂取目安量90mL中にコンドロイチン硫酸1,560mg、グルコサミン1,000mgおよびコラーゲンペプチド1,000mgも摂取できるように配合しており、若々しく活動的に過ごしたいと願う方におすすめの健康飲料です。



Cコース

美容・健康商品 『化粧品・ミニドリンク剤 詰め合わせセット』



大人ニキビ対策として好評いただいているコンドロイチン含有の『アポスティー[®]洗顔フォーム』および『アポスティー[®]マイルドローション』を各2本と、ローヤルゼリー、ヨクイニン、ビタミン類を配合し1本わずか2Kcalノンシュガータイプのミニドリンク剤ローヤルゼリー配合『ももの味』ノンシュガー、同『りんご味』ノンシュガー各10本入り1箱をセットにしました。

『アポスティー[®]洗顔フォーム』(化粧品) 60g×2本

『アポスティー[®]マイルドローション』(医薬部外品) 150mL×2本

ローヤルゼリー配合『ももの味』ノンシュガー(医薬部外品) 50mL×10本入り1箱

ローヤルゼリー配合『りんご味』ノンシュガー(医薬部外品) 50mL×10本入り1箱

Dコース

コンドロイチン配合夜間集中美容液(化粧品) 『ZZ:CC[®](ジージー・シーシー) アドソープエッセンス』(50g 1本)

『ZZ:CC[®](ジージー・シーシー)アドソープエッセンス』は当社が長年研究を続けてきたコンドロイチンを配合した「夜間集中美容液」です。高純度コンドロイチンと従来の美肌成分コラーゲン、ヒアルロン酸を独自の割合で配合。これを新・機能性保湿&保護成分「スキんルーツ[®]PGⅢ」と名付けました。さらに持続性ビタミンC誘導体やビタミンP誘導体および、各種植物エキスも配合しました。夜間集中してお使いいただくことで、眠っている間に角質層まで十分浸透し、翌朝まで肌の水分をとらえて逃がさない一方、美肌成分を送りつづけ透明感のある素肌を目指します。



会社情報 (平成21年3月31日現在)

会社概要

創立	1955年12月
資本金	6,593,398,500円
社員数	1,159名(連結)
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売及び輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売及び輸出入

役員 (平成21年6月26日現在)

代表取締役社長	伊部幸顕
専務取締役	斎藤武
常務取締役	長江晴男
常務取締役	遠藤広和
常務取締役	降旗繁弥
取締役	大野晃一
取締役	熊井雅典
取締役	永谷康宏
取締役	小野雄
取締役	菅幹雄
取締役	森山茂
取締役	竹内治之
取締役	岸本誠
取締役	平賀義裕
取締役	橋本暢仁
監査役	浜野峻至
監査役	花田雅彦
非常勤監査役	小森哲夫
非常勤監査役	中由規子

事業所

● 本社	● 神戸営業所
● 札幌支店	● 京滋北陸営業所
● 仙台支店	● 中四国支店
● 東京支店	● 岡山営業所
● 東京第3営業所	● 高松営業所
● 神奈川営業所	● 福岡支店
● 埼玉営業所	● 中央研究所
● 千葉営業所	● 埼玉工場
● 北関東営業所	● 筑波工場
● 甲信越営業所	● 東京物流センター
● 名古屋支店	● 札幌物流センター
● 大阪支店	● 埼玉物流センター
● 大阪第2営業所	● 大阪物流センター
● 出張所	
青森・郡山・宇都宮・関越・静岡・金沢・山口・米子・松山・高知・長崎・熊本・大分・鹿児島・沖縄	

株式情報 (平成21年3月31日現在)

株式の状況

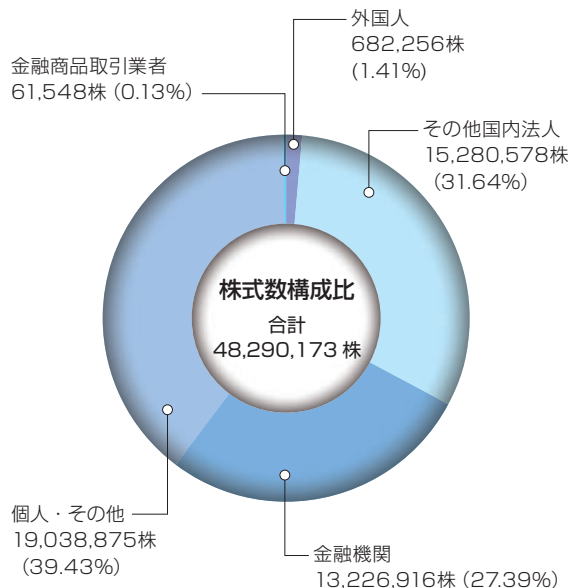
①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	48,290,173株
③株主数	3,512名

大株主

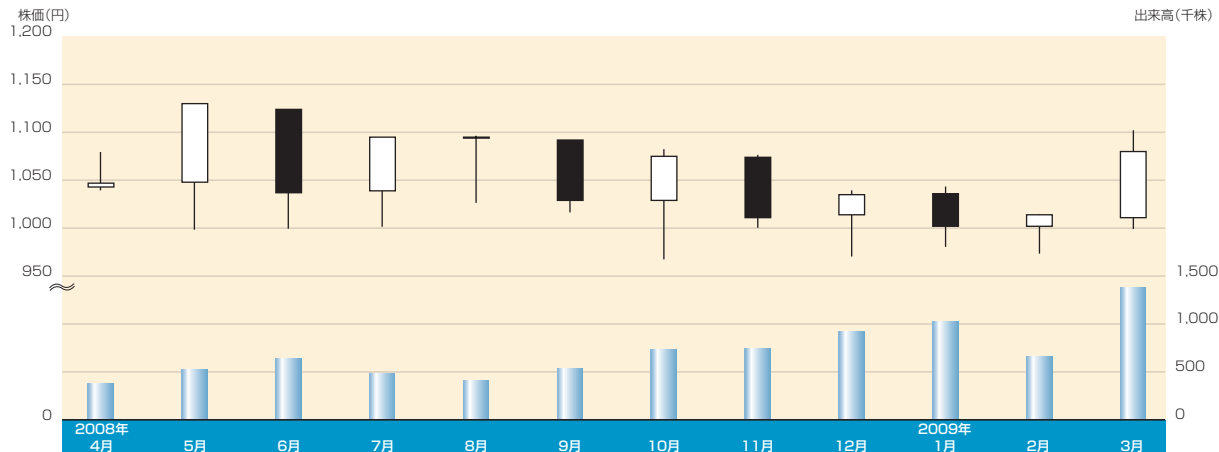
株主名	持株数 (株)	出資比率 (%)
有限会社伊部	5,510,770	13.3
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,915,500	4.6
森永乳業株式会社	1,854,741	4.5
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	1,776,000	4.3
ゼリア新薬工業従業員持株会	1,707,417	4.1
伊部 幸顕	1,427,425	3.4
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口4G)	1,309,000	3.2
株式会社三井住友銀行	1,278,301	3.1
株式会社みずほ銀行	1,278,230	3.1
株式会社りそな銀行	1,074,896	2.6

(注) 出資比率については、自己株式 (6,911,782株) を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



株価および出来高の推移



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
- 株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- 上場株式配当等の支払に関する通知書について
租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。
配当金領収証にてお受取りの株主様は年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は配当金支払の際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくことができます。
- 株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内
株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください。

URL <http://www.zeria.co.jp/>



当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。